

●アニメーション映画●

注文の多い料理店

桜映画社・エコー社共同製作作品 16ミリ・カラー・19分

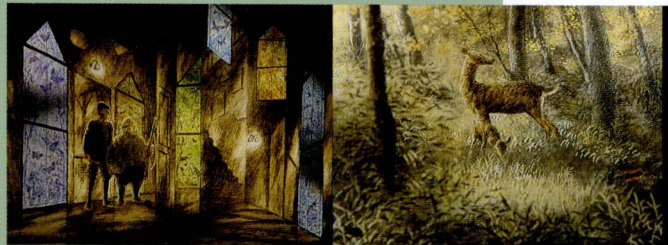
[対象]小学・中学・一般／特別活動・映画会等[販売価格]16ミリ200,000円(消費税別)



あらたなる岡本忠成の世界

佐藤忠男 映画評論家

岡本忠成さんのアニメーション映画は、一作々々、方法が違い、材料や画質の工夫を変えているので、こんどはどんな絵を見せてくれるか、そのたびごとに期待に胸がわくわくする。こんどの「注文の多い料理店」もまた、じつに渋い絵で、ミステリアスで幻想的な原作の世界を鮮やかにとらえた面白いものであった。一作ごとに絵と方法が違って、基調となる詩情はまぎれもなく一貫した岡本忠成のものである。岡本さんの詩情を活かすことに力をつくされた川本喜八郎さんの努力を讃えたい。



文化庁優秀映画作品賞
毎日映画コンクール大藤信郎賞
キネマ旬報ベスト・テン第3位
日本映画ペンクラブ賞
文部省選定
教育映画祭最優秀作品賞
文部大臣賞

[配給]



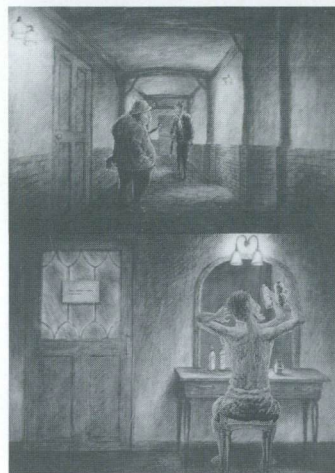
芸術文化振興基金

賢治の幻想性を一段と高める素敵なセルアニメ映画

関口 勇 全国視聴覚教育連盟事務局長

宮澤賢治の作品には幻想的なものが多い。二人の狩人が迷いこんだ「山猫軒」。入り口の看板に「はてな？」と思いつつも中に入る。次々と怪しげな注文の連続。「危ない！」と気がついた瞬間、相手は真っ赤な大口を開けて襲いかかる山猫と化す。二人は恐怖のドン底へ。気がついたら死んだ筈の猟犬に助けられていた。狩りをしてご馳走になろうとした狩人が、逆に山猫が代表する仕返しをくれた話。

賢治はかく風刺的に不気味な雰囲気を巧みに描く。それにすばらしい味つけをしたのがセルアニメと音楽の素敵な技法。その中に自然保護・動物愛護を滲ませる。文を併せ読めば味又格別。青年・成人必見の作とすすめる。

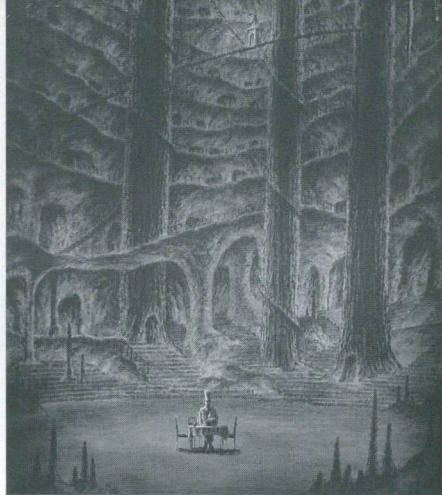


あらすじ

山奥に猟をしにやってきた2人のハンターが、獲物を追ううち、森の奥深くに迷い込む。突然、霧の中からあらわれた館、「山猫軒」。二人は、いつしか幻想の世界に踏み込み、扉を開けていくたびに、数々の奇妙な出来事に遭遇する。やがて、自分たちが料理されようとしていることに気づき、逃げ出そうとするのだが……。

● 作品は、自然破壊を続ける人間へ警鐘を鳴らし、自然界のものたちと営みを共にする存在としての人間の在り方を問いかけてきます。賢治の名作童話が、想像力豊かに、繊細なアニメーションになりました。

❖アニメーション作家・岡本忠成監督の遺作「注文の多い料理店」は、その着想以来5年、イメージを定着するために立体から平面へと試行錯誤を重ねた末、セルアニメによる新しい表現にたどりつきました。しかし、残念なことに製作に着手して1年後、岡本監督は病により急逝しました。遺された絵コンテをもとに、長年パペットアニメーションを共に開いてきた友人の川本喜八郎監督が製作スタッフに加わり、更に2年をかけ、完成の運びとなりました。



製作スタッフ

製作	岡本さと子(エコー社) 福岡順子(桜映画社)
原作	宮澤賢治
脚本・演出	岡本忠成
演出助手	篠原義浩
監修	川本喜八郎
協力	保坂純子 南波千浪 ほか
音楽	広瀬量平
振付	村田大
美術	川下倫子 小野沢節子 徳山正美
作画	奥山玲子 阿部信子 ほか
仕上	横坂千鶴子 鳴脇みえ子 ほか
編集	守随房子
ネガ編集	相沢尚子
撮影	高橋明彦 中出三記夫
照明	佐藤譲
効果	神山雄吉 MUSIC FACTORY
録音	甲藤勇
現像	IMAGICA

桜映画社・エコー社作品

おこんじょうり

アニメーション・カラー・25分
16mm 165,000円

●
きつねのおこんとばあさまの、
ふれあいのあたたかさ、
やさしさを描きます。

【配給元】

株式会社 **桜映画社**

〒151 東京都渋谷区代々木1-57-1
TEL 03(3320)6311 FAX 03(3320)7666